

■著者紹介

島岡 まな (しまおか・まな) 序章に代えて, 第I部 (第5章～第9章)

慶應義塾大学大学院法学研究科博士後期課程中退

現在, 大阪大学高等司法研究科教授

〔主要業績〕

『裁判所は何を判断するか (シリーズ 刑事司法を考える 第5巻)』

(岩波書店, 2017年/共著)

『性暴力と刑事司法』(信山社, 2014年/共著)

井上 宜裕 (いのうえ・たかひろ) 第I部 (第1章～第4章)

大阪市立大学大学院法学研究科後期博士課程修了/博士 (法学)

現在, 九州大学大学院法学研究院教授

〔主要業績〕

『緊急行為論』(成文堂, 2007年)

末道 康之 (すえみち・やすゆき) 第II部 (第10章～第17章)

慶應義塾大学大学院後期博士課程/博士 (法学)

現在, 南山大学法学部教授

〔主要業績〕

『フランス刑法の現状と欧州刑法の展望』(成文堂, 2012年)

『慶應の法律学 刑事法』(慶應義塾大学出版会, 2008年/共著)

『フランス刑法における未遂犯論』(成文堂, 1998年)

浦中 千佳央 (うらなか・ちかお) 第III部 (第18章～第22章)

トゥールーズ第一大学, キャピトル (フランス), 博士院修了/博士 (政治学)

現在, 京都産業大学法学部教授

〔主要業績〕

「警察学の未来, フランスの視座から」『警察政策』16巻 (2014年) 77-99頁。

“Police et contrôle social au Japon” L’Harmattan, Paris, 2010.